

徳川

十二月二十七日

衆議院議員総選挙の投票日

発行 町 16
 徳川 28
 TEL (120
 編集 集
 総務 課
 1969.12.20号



解散による衆議院議員の総選挙は、去る十二月七日に公示され、来る十二月二十七日に投票が行なわれることになった。

今度の選挙は、安全保障、沖縄問題をはじめ、大学、物産の問題など国政の方向を決定するうえで極めて重要な意義をもつものであり、有権者の積極的な投票が強く要請されている。

又、この選挙と同時に最高裁判所裁判官の国民審査も行なうことになっている。

最高裁判所の裁判官は内閣が任命するが、その裁判官の適否は、国民が投票によって審査することになっている。その国民審査は、

各裁判官につきその任命後初めて行なわれる衆議院議員選挙の期日に行ない、次に最初の審査から十年を経過した後初めて行なわれる衆議院議員の総選挙に更に審査が行なわれその後も同様に審査を行なう。

裁判官を罷免する権限が国民の中にあるとするところに大きな意義があります。

今度投票できる人は十二月二十七日現在で満二十歳以上で十二月六日まで三箇月以上住民基本台帳に記載され、選挙人名簿に登録されている人です。

当日やむを得ない用務や病気で投票に行けない人は不在者投票ができます。気軽に相談下さい。

11月の出来事

- 1日 民生委員会
- 5日 子宮ガン検診(中野小学校) ジフテリア等予防接種、大谷地区
- 6日 簡易水道事業計画調査
- 10日 林業構造改善事業中間検査
- 14日 大洲〜須崎線 国道昇格決定
- 16日 郡内町村議員ソフトボール大会(五十崎町)
- 18日 農政懇談会
- 19日 高橋代議士国会報告会
- 20日 町政懇談会(大和、脇栄部落)
- 26日 明るい正しい選挙講演会(講師 門田修) 人権法律相談
- 27日 世界農林業センサス説明会
- 28日 消防団分団長会 妊婦検診
- 29日 農業委員会



身近かな

「選挙用語」

有権者は、投票所で自ら投票用紙に候補者の氏名を記載して投票するのが建前ですが、身体の故障のため自分で記載することができない人、あるいは字が書けない人は、投票所で投票管理者に申し出て、本人に代って候補者の氏名を書いてもいい、投票することが出来ます。

これが代理投票の制度です。この場合、投票管理者は、投票立会人の意見を聞いて投票を補助する者二人を定め、そのうち一人に選挙人が指示する候補者の氏名を投票用紙に記載させ、他の一人を立ち合わせます。

このように代理投票においても投票の秘密は絶対に守られますので、身体に故障、または字が書けない人は安心してこの制度を利用できることになっています。

家庭の防火



寒さがきびしくなるにつれて、どこの家庭でも暖房器具を使うようになり、また年末年始は忙しく家を掃除する機会が多くなります。

そのうえ空気が乾燥し、強い風が吹くため、ひじょうに火災が起きやすくなります。このような時期には、ちょっとした不注意から火災が起り、大切な家財や尊い生命までも奪われることになりま

れば、未然に防ぐことができるのです。

そこで、火災を起こさないため、また万一火災になってもあわてないようにならなければならない、家庭において注意していただきたいおもなことがらをあげてみます。

一、たばこの火に注意
 毎年、火災原因のトップは、たばこです。たばこをすう人のいる家庭では風が吹いても吸いがら吹き飛ばされず、また転倒しないような灰皿をそなえましょう。喫煙者は、寝たばこや吸いがらの投げすてを絶対にやめましょう。

二、暖房器具の取り扱い
 眠っていて灰皿をひっくりかえしたり、消えたと思っ捨てた吸いがらから、火災になることがあります。

三、暖房器具には、ストーブ、やぐらごたつ、あんななどたくさん種類がありますが、使う場所や目的をよく考えたりえて、器具を買うことが大切です。たとえば、ストーブの置き場所を部屋の真中にしたければ対流式を、部屋の隅にしたいければ反射式を買おうといった具合にします。

また暖房器具を使うときには、正しい使用方法によらなければなりません。やぐらごたつで洗濯物を乾かしたり、石油ストーブなどを点火したまま、灯油を補給したりすることは危険ですから絶対にやめましょう。

四、外出と就寝後の火の元点検
 外出中と就寝後の火災は発見が困難なため、大きな火災になることが多く、ときには尊い人命までも奪われることになりま

五、消火の備え
 火事は最初の五分が大切だといわれるように、初期消火が最も重要です。そのために必ず消火器か水バケツを用意して万一に備え、不幸にして火災になっても、ほやのうちに消火したいものです。

六、火災を見つけたら早く消防へ
 火災は早く見つけて早く消せば、大事にならずにすむのです。火災感知器など設けられない一般の家庭では、火災を早く発見する方法の一つとして、パチパチという異常な音、こげ臭いにおい

気が乾燥しているときのたき火はやめましょう。また、始めに水バケツを用意しておき、すんだあとはよく消して、後に火が残らないようにします。

七、避難の準備
 火災から尊い人命を守るためには、まず小さい子ども、老人、からだの自由な病人を残しての外出は、できるだけやめたいものです。また、これらのもの

八、その他
 最近建築材料や、衣類、家具など、私たちの身のまわりには、石油化学製品が非常に多く使われています。

これらは、いったん燃えたら、たくさんの煙りを出したり、有毒なガスを出すものがあります。カーテンや家具などを買うときは、燃えにくさという点にも気を配りたいものです。

どこの家庭でも主に火を使うのは主婦が多いので、主婦を中心として、夕げのだんらんにも、家庭ぐるみで防火について話し合う機会をとくときも、火災のない明るい家庭にしましょう。

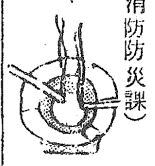
九、消火の備え
 火事は最初の五分が大切だといわれるように、初期消火が最も重要です。そのために必ず消火器か水バケツを用意して万一に備え、不幸にして火災になっても、ほやのうちに消火したいものです。

十、火災を見つけたら早く消防へ
 火災は早く見つけて早く消せば、大事にならずにすむのです。火災感知器など設けられない一般の家庭では、火災を早く発見する方法の一つとして、パチパチという異常な音、こげ臭いにおい

十一、避難の準備
 火災から尊い人命を守るためには、まず小さい子ども、老人、からだの自由な病人を残しての外出は、できるだけやめたいものです。また、これらのもの

十二、その他
 最近建築材料や、衣類、家具など、私たちの身のまわりには、石油化学製品が非常に多く使われています。

これらは、いったん燃えたら、たくさんの煙りを出したり、有毒なガスを出すものがあります。カーテンや家具などを買うときは、燃えにくさという点にも気を配りたいものです。



(消防防災課)

